

安平川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知

実施主体：苦小牧市

洪水ハザードマップ（想定最大規模）をホームページに掲載するなどして地域住民に周知（継続実施）

洪水ハザードマップ（令和3年3月作成）

令和3年3月に洪水ハザードマップをリニューアルし、市内全戸配布を行いました。

新しい洪水ハザードマップは、水防法に基づき淹水が予測されている「水位高知河川」である苦小牧川、奥仙川、安平川の3河川を対象河川として作成しています。

北海道が新たに洪水浸水想定区域図を公表したため、計画規模（対策の目標となる洪水の規模）の修正を行うとともに、想定最大規模の浸水想定区域図を併記するなどリニューアルをしています。

※地図に示した浸水区域や橋載以外の河川についても、雨の降り方によっては浸水する場合があります。

洪水浸水想定区域図の詳細は北海道の公表ページからご確認ください。
（水位高知河川の浸水想定区域図、浸水継続時間、家屋倒壊等危険区域図が確認できます）



洪水ハザードマップ

母子データ PDF 図面版(25.11 MB) / PDF 地図版(24.60 MB)

【概要図】 PDF 図版(324.50 KB)

PDF ハザードマップで危険箇所を強調(1.12 MB)

PDF マイ・タイムラインを作ってみよう(310.44 KB)

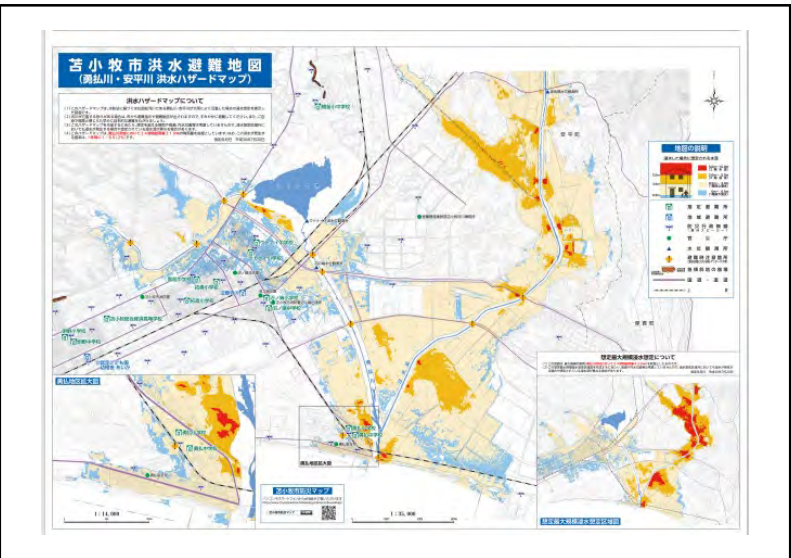
PDF 防災情報の入手(564.01 KB)

PDF 浸水への備え(943.13 KB)

PDF 緊急連絡先一覧表、防災備品・持ち出し品の準備(541.31 KB)

【他図集】 PDF 苦小牧川・奥平川・安平川洪水ハザードマップ(1.79 MB)

PDF 奥仙川・安平川洪水ハザードマップ(1.66 MB)



区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	民間施設（住宅等）における雨水貯留浸透施設の設置促進

实施主体：苦小牧市

市ホームページに雨水浸透施設の設置にご協力をお願いする旨を掲載

店舗・集合住宅・事業所等の建築や、 外構・駐車場の施工をご検討の皆様へ

雨水浸透施設の設置にご協力をお願いします

苫小牧市では、公共下水道への雨水の流入量を抑制することを目的に、
 敷地内への雨水浸透施設の設置による雨水流出抑制をお願いします。

豆知識 雨水流出抑制って何？

降った雨を地中に浸透させたり、一時的に貯留して少しずつ下水道管に流すことで、
 下水道管に流入する雨水の量を抑える仕組みのことを、雨水流出抑制といいます。

なぜ雨水流出抑制が必要なの？

都市化によりアスファルト舗装などが増加し、降った雨が地中に浸透しにくくなっています。また、近年の集中豪雨のような局地的な大雨により、下水道の排水能力を超える雨水が流入することで、道路冠水などの浸水被害が発生するケースがあります。このため、雨水浸透施設により、雨が一気に下水道管に流入するのを抑制する必要があります。

豆知識 雨水浸透施設とは？

雨水を一時的に貯留させたり、地面に浸透させる施設のことです。水を通わせるコンクリートでできた管や穴のついた管、砂利などが使われています。

(例) ●浸透ます ●浸透管
●貯留槽 ●透水性舗装

建物の所有者ご自身で雨水浸透施設を設置することにより、敷地からの雨水の急激な流出を抑制し、集中豪雨の際に浸水被害を防ぐことができます。
 店舗、集合住宅、事業所、外構、駐車場などを建設する場合は、雨水浸透施設の設置をお願いします。

苦小牧川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知

実施主体：苦小牧市

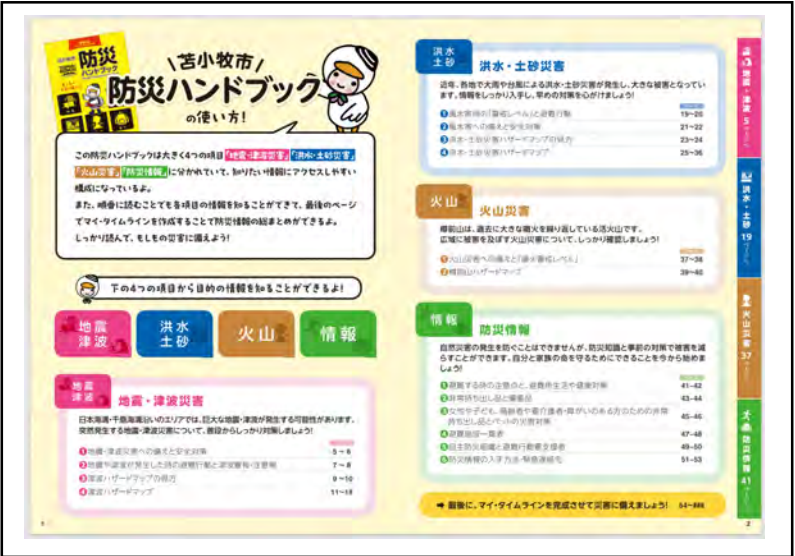
令和6年3月に防災ハンドブックを全戸配布



区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	防災教育の推進

実施主体：苦小牧市

令和6年3月に防災ハンドブックを全戸配布



实施主体：苦小牧市

非常持ち出し品と備蓄品①

[illegible]

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	防災情報伝達手段の整備検討、充実

実施主体：苦小牧市

FMとまこまいと災害時の情報発信について協定締結



苦小牧川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水害リスク空白域の解消に向けた取組

実施主体：苦小牧市

令和6年3月に防災ハンドブックを全戸配布



区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	指定緊急避難場所、指定避難所の標識設置・検討

実施主体：苦小牧市

標識設置済み



別々川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	民間施設（住宅等）における雨水貯留浸透施設の設置促進

実施主体：苫小牧市

市ホームページに雨水浸透施設の設置にご協力をお願いする旨を掲載

店舗・集合住宅・事業所等の建築や、
外構・駐車場の施工をご検討の皆様へ

雨水浸透施設の設置にご協力をお願いします

苫小牧市では、公共下水道への雨水の流入量を抑制することを目的に、敷地内への雨水浸透施設の設置による雨水流出抑制をお願いします。

豆知識 雨水流出抑制って何？

降った雨が地中に浸透させたり、一時的に貯留して少しずつ下水道管に流すことで、下水道管に流入する雨水の量を抑える仕組みのことを、雨水流出抑制といいます。

降った雨が地中に浸透 ⇒ 下水道管に流入する雨水が抑制される

なぜ雨水流出抑制が必要なの？

都市化によりアスファルト舗装などが増加し、降った雨が地中に浸透しにくくなっています。また、近年の集中豪雨のような局地的な大雨により、下水道管の排水能力を超える雨水が流入することで、道路冠水などの浸水被害が発生するケースがあります。このため、雨水浸透施設により、雨が一気に下水道管に流入するのを抑制する必要があります。

雨水浸透施設とは？

雨水を一時的に貯留させたり、地中に浸透させる施設のことです。水を通過させるコンクリートでできた管や穴の空いた管、砂利などが使われています。

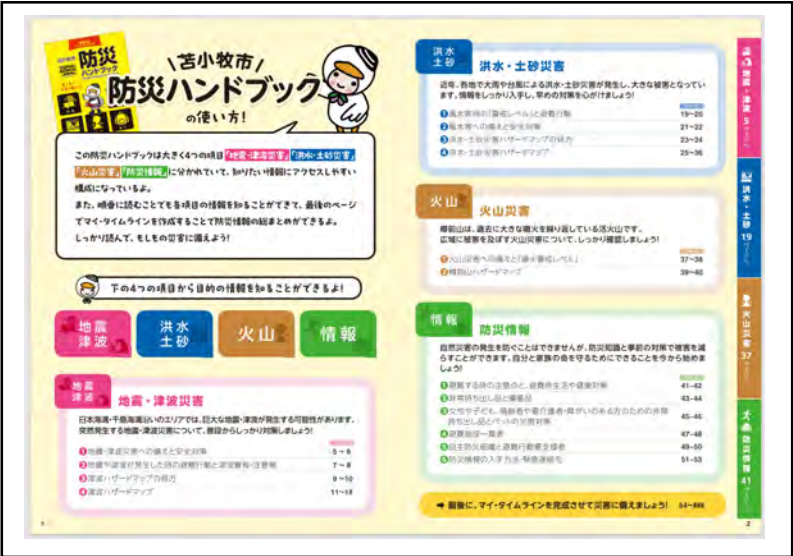
(例) ● 浸透ます ● 浸透管
● 貯留槽 ● 透水性舗装

建物の所有者ご自身で雨水浸透施設を設置することにより、敷地からの雨水の急激な流出を抑制し、集中豪雨の際に浸水被害を防ぐことができます。店舗、集合住宅、事業所、外構、駐車場などを建設する場合は、雨水浸透施設の設置をお願いします。

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	防災教育の推進

実施主体：苦小牧市

令和6年3月に防災ハンドブックを全戸配布



別々川水流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	防災資材の備蓄、水防資機材の確保状況を情報提供

実施主体：苫小牧市

市ホームページ及び防災ハンドブックに防災資機材について掲載

「もしも」に備え、備蓄品を準備しよう

非常持ち出し品をそろえる

もしもの災害時でも、すぐに避難できるよう非常持ち出し品（袋）を準備しておきましょう。中身は自分にとって必要なものを、家族がいる場合は1人分ずつの用意があると安心です。両手が使えるリュックなどを使い、玄関や寝室などに置いておけば、いつでも持ち出すことができます。

貴重品

- 現金 ●現金通帳 ●印鑑 ●健康保険証（コピーでも可） ●運転免許証（コピーでも可） ●重要書類 ●税関・知人等の連絡先メモ ●家族写真（家族とばかれたときに便利）

情報収集用品

- 携帯ラジオ ●乾電池 ●筆記用具 ●スマートフォンや携帯電話の充電器

食糧食・飲料水

- 飲料水 ●乾パン・ビスケット ●ゼリー飲料や栄養補助食品 ●缶詰コレレート、あめなど

※食糧ではなく避難行動時のエネルギー補給ができるもの

衣料品・防寒対策用品

- 雨具 ●レジャーシート・保通シート ●使い捨てカイロ ●防寒具・防寒着

※雨などに濡れた場合に備えて着替えは1セット分を用意。足下下着や使い回したものを旅行用の足履鞋に入れておくことコンパクトに収納できる。

避難用品

- 車の厚い靴（登山靴やスニーカーなど履き回せるもの） ●手袋・着鞋 ●ヘルメット、防災頭巾 ●懐中電灯・ヘッドライト ●ホイッスル ●バザードマップ・地図

救急・衛生用品

- ばんそうこう ●消毒剤 ●ガゼー・敷物 ●マスク ●ピンセット、毛抜き、はさみ ●常備薬（風邪薬・解熱剤） ●持病薬 ●おくすり手帳（コピーや薬のメモでも可） ●アルコール除菌（シートやジェルなど） ●ティッシュ ●ウェットティッシュ ●ビニール袋 ●携帯トイレ ●生理用品

いざというときでも安心の備えを！

非常持ち出し品と備蓄品①

非常持ち出し品を用意する！

もしもの災害でも、すぐに避難できるよう非常持ち出し品（袋）を準備しておきましょう。中身は自分にとって必要なものを、家族がいる場合は1人分ずつの用意があると安心です。両手が使えるリュックなどを使い、玄関や寝室などに置いておけば、いつでも持ち出すことができます。

情報収集用品

- 携帯ラジオ ●乾電池 ●筆記用具 ●スマートフォンや携帯電話の充電器

食料・飲料水

- 飲料水 ●乾パン・ビスケット ●ゼリー飲料や栄養補助食品 ●缶詰コレレート、あめなど

※食糧ではなく避難行動時のエネルギー補給ができるもの

衣料品・防寒対策用品

- 雨具 ●レジャーシート・保通シート ●使い捨てカイロ ●防寒具・防寒着

※雨などに濡れた場合に備えて着替えは1セット分を用意。足下下着や使い回したものを旅行用の足履鞋に入れておくことコンパクトに収納できる。

避難用品

- 車の厚い靴（登山靴やスニーカーなど履き回せるもの） ●手袋・着鞋 ●ヘルメット、防災頭巾 ●懐中電灯・ヘッドライト ●ホイッスル ●バザードマップ・地図

救急・衛生用品

- ばんそうこう ●消毒剤 ●ガゼー・敷物 ●マスク ●ピンセット、毛抜き、はさみ ●常備薬（風邪薬・解熱剤） ●持病薬 ●おくすり手帳（コピーや薬のメモでも可） ●アルコール除菌（シートやジェルなど） ●ティッシュ ●ウェットティッシュ ●ビニール袋 ●携帯トイレ ●生理用品

非常持ち出し品（防災ポーチ・持ち歩き用）を用意！

先店舗に災害が起きた場合でも持ち出し品は1日でも持ち出し品がないというものがバックにコンパクトに入れて持ち歩きましょう。

日頃から備蓄を心がけよう！

災害時にはライフラインが止まり、食料の供給が滞り、避難先での生活が困難になる可能性があります。日頃から備蓄を心がけ、災害時に備えましょう。また、トイレが利用できない災害を想定し、必要に応じて、避難先で利用できるトイレを確保しておくことも大切です。必要に応じて、避難先で利用できるトイレを確保しておくことも大切です。

備蓄品

災害時には備蓄品が非常に重要です。日頃から備蓄を心がけ、災害時に備えましょう。

非常持ち出し品（防災ポーチ・持ち歩き用）を用意！

先店舗に災害が起きた場合でも持ち出し品は1日でも持ち出し品がないというものがバックにコンパクトに入れて持ち歩きましょう。

日頃から備蓄を心がけよう！

災害時にはライフラインが止まり、食料の供給が滞り、避難先での生活が困難になる可能性があります。日頃から備蓄を心がけ、災害時に備えましょう。また、トイレが利用できない災害を想定し、必要に応じて、避難先で利用できるトイレを確保しておくことも大切です。必要に応じて、避難先で利用できるトイレを確保しておくことも大切です。

備蓄品

災害時には備蓄品が非常に重要です。日頃から備蓄を心がけ、災害時に備えましょう。

非常持ち出し品（防災ポーチ・持ち歩き用）を用意！

先店舗に災害が起きた場合でも持ち出し品は1日でも持ち出し品がないというものがバックにコンパクトに入れて持ち歩きましょう。

日頃から備蓄を心がけよう！

災害時にはライフラインが止まり、食料の供給が滞り、避難先での生活が困難になる可能性があります。日頃から備蓄を心がけ、災害時に備えましょう。また、トイレが利用できない災害を想定し、必要に応じて、避難先で利用できるトイレを確保しておくことも大切です。必要に応じて、避難先で利用できるトイレを確保しておくことも大切です。

備蓄品

災害時には備蓄品が非常に重要です。日頃から備蓄を心がけ、災害時に備えましょう。

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	水害リスク空白域の解消に向けた取組

実施主体： 苫小牧市

令和6年3月に防災ハンドブックを全戸配布



別々川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	指定緊急避難場所、指定避難所の標識設置・検討

実施主体：苫小牧市

標識設置済



区分	被害対象を減少させるための対策
対策内容	宅地建物取引等に係る災害リスク情報の提供促進

実施主体：白老町

不動産業者などから問い合わせがあった場合に区域内外について対応

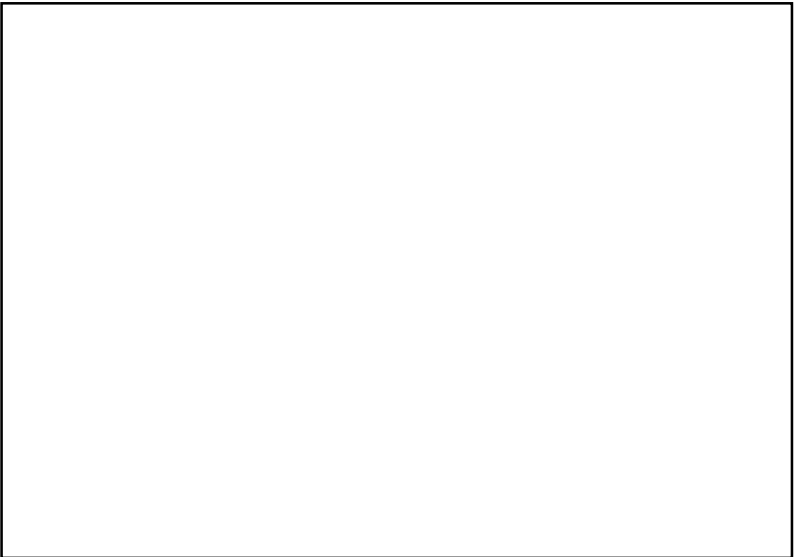
写真なし

白老川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知

実施主体：白老町

洪水ハザードマップ(想定最大規模) をホームページに掲載するなどして地域住民に周知
(継続実施)



区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知

実施主体：登別市

洪水等に対応したハザードマップを令和6年3月に作成



令和4年3月版



令和6年3月版（別冊版）

釧路川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知

実施主体：登別市

洪水等に対応したハザードマップを令和6年3月に作成



令和4年3月版

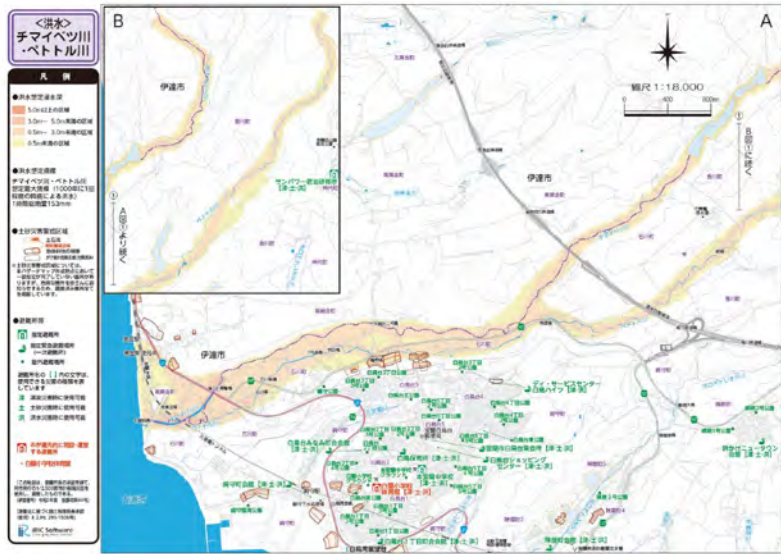


令和6年3月版（別冊版）

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知

実施主体：室蘭市
(総務部防災対策課)

ハザードマップ作成により、洪水に伴う想定浸水深を具体的に示すことが可能となるため、対象地区の住民に災害リスクを周知することで、防災意識の向上につなげることができました。

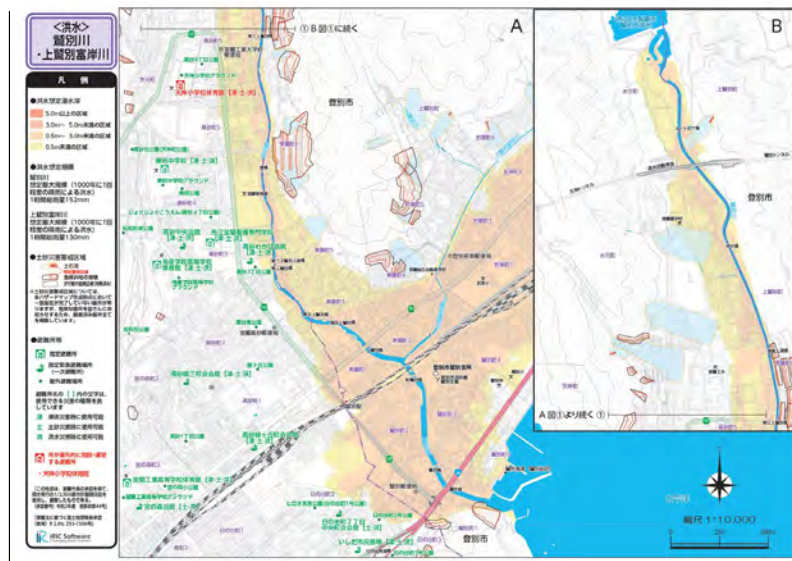


釧路川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知

実施主体：室蘭市
(総務部防災対策課)

ハザードマップ作成により、洪水に伴う想定浸水深を具体的に示すことが可能となるため、対象地区の住民に災害リスクを周知することで、防災意識の向上につなげることができました。



長流川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知 防災教育の推進

実施主体：壮瞥町

P T A 連合会、自治会への防災講話及び小学校の防災教育でのハザードマップに基づく洪水危険箇所の周知と平素からの備え（避難時期、携行品、避難場所）を教育（火山噴火だけでは無いことを言及）



貫気別川水系流域治水プロジェクトに基づく 令和5年度の流域治水の取組みについて

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	洪水等に対応したハザードマップの作成と地域住民への周知

実施主体：豊浦町

（政策財政課交通防災係）

- R5に北海道で設定した洪水浸水想定地域を町の地域防災計画に位置付け。
- R7に災害ハザードマップを更新予定。



【既存のハザードマップ】

- 津波浸水地域と土砂災害警戒区域のみの掲載
- 冊子型のみで電子化されていない

【新たなハザードマップ】

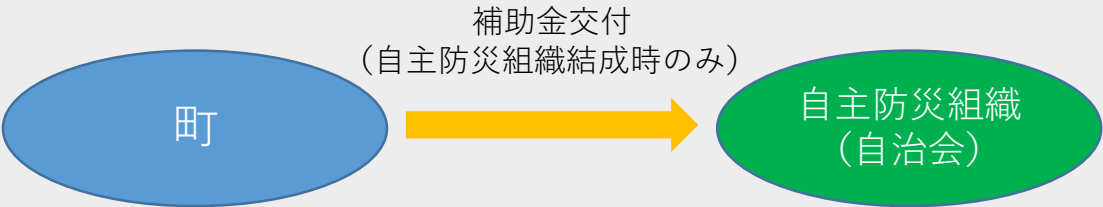
- 津波、土砂災害に加え河川の洪水浸水想定区域、および高潮浸水想定区域を追加予定
- 電子化し、webでの閲覧を可能とする。
- 不動産取引事業者にも配布を実施

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	自主防災組織の結成・支援

実施主体：豊浦町
(政策財政課交通防災係)

自主防災組織の役割を見直しを実施

【これまでの自主防災組織】



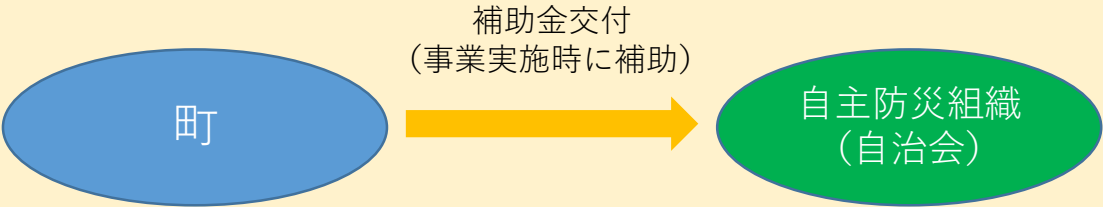
【役割】

- 避難行動要配慮者名簿の作成
- 地域の避難所備品、備蓄の購入

【課題】

- 自治会では避難行動要配慮者の把握が困難（要介護認定、障害3手帳の有無などの要件が把握できない）
- 自主防災組織結成時の補助金だけでは避難所備品、備蓄の更新が困難

【これからの自主防災組織】



【役割】

- 地区防災計画の作成、進捗管理
- 避難所運営訓練の実施

【目的】

- 町の地域防災計画では網羅できない地域の事情を踏まえた計画を作成し、地域の実情に合わせた防災体制を構築する
- 町職員も被災することを想定し、避難所の自主運営を可能とする取組を支援する